



中野 晴啓からのメッセージ

8月初旬の株価急落局面を経て、暫し変動幅の大きな市場環境が続いていましたが、気づけば足元では米株式市場は史上最高値を更新し、日本株も急速なリバウンド。マーケットには再び楽観ムードが広がっていて、まるで泣いたと思ったらもう笑ってるという赤ちゃんの如き変幻ぶり。いかにも相場とはそんな気まぐれなものです。

我々長期投資家は、目先の相場の一喜一憂に付き合う必要はありません。今あるマーケットの楽観は、米FRBが倍速幅の利下げを実行したことで、米景気が下支えされるとの期待の高まりから来る、いわゆる金融相場です。

ところが景気が堅調だとするとインフレ懸念が再度台頭してくる。大統領選の行方もインフレ動向には大きく左右する。もし利下げペースが鈍るとなればマーケットはまたぞろ悲観に傾くか。また、一服した感のある為替の円高修正への動きですが、日銀が年明け再び利上げへの狼煙を上げることになれば、為替水準は大きく反応して動く可能性もあります。

などなどマーケットの短期的な不確実性は気楽に俯瞰しつつ、ステキな企業のステキな事業を気持ちよく支えて行く、王道の長期投資を楽しく続けてまいりましょう！

なかのアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 中野 晴啓

ポートフォリオマネージャー居林 通より

なかの世界成長ファンド
ポートフォリオマネージャー
居林 通

9月18日に米国のFOMC(連邦公開市場委員会)で、0.5%の金利の引き下げが行われました。予想以上の金利の引き下げでしたが、ドル円は140円付近の水準から逆に円安ドル高となりました。

アメリカの金利が下がるのですから、普通に考えると日米金利差は縮小するわけで、ドルが下落し円が上昇(円高ドル安)になっても不思議ではない状況でした。しかし、実際には160円を超える円安水準から一転して140円までの円高になっていたドル円の為替レートは、140円を底に若干ですが反発(円安ドル高)に動いています。

これは、日本は米国が今後利下げをしても日本よりも高い金利が残るであろうことと、利下げの効果が出るのであれば、2025年後半からアメリカ経済が再度成長軌道に乗ることが考えられ、その場合にはアメリカの金利はやはり日本よりも高い、ということが市場で認識されたのではないかと考えます。

一方で、株式市場は、アメリカに加えて欧州の金融緩和、そして中国での経済刺激策が出たことで世界的に8月上旬の下落から立ち直りつつあります。引き続き、企業収益は堅調に推移しており、なかの世界成長ファンドは世界の高い競争力と高い成長力を兼ね備えた企業に投資を続けてきたいと考えています。

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

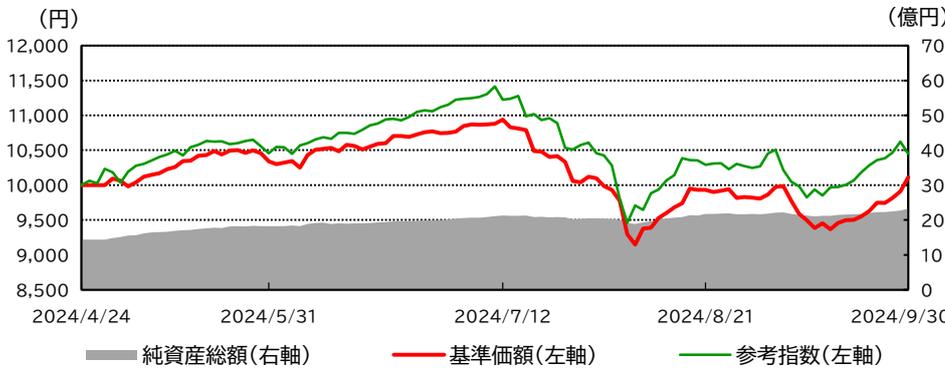
お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
ホームページ:<https://nakano-am.co.jp/>



現在の基準価額は8月上旬の急落から回復過程にあると考えております。為替が円高に振れる局面もありましたが、世界株式は堅調に推移しており、長期的に見れば競争力のある企業に投資し続ける投資方針が報われると考えています。9月下旬に発表された中国の経済政策も株価にはプラスと考えています。(居林 通)

●基準価額及び純資産総額の推移(2024年9月末現在)



| |
|---------|
| 基準価額 |
| 10,113円 |
| 純資産総額 |
| 23億円 |

※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。
 ※ 参考指数は「MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・円換算ベース)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社で円換算しています。
 ※ 純資産総額は、単位未滿を切り捨てて表示しています。

●騰落率

| | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 5年 | 設定来 |
|-------|------|-------|-----|----|----|----|------|
| 当ファンド | 3.1% | -6.0% | - | - | - | - | 1.1% |
| 参考指数 | 1.8% | -5.6% | - | - | - | - | 4.5% |

※ 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

●資産の組入比率

| | |
|----------------|--------|
| なかの世界成長マザーファンド | 95.5% |
| 現金等 | 4.5% |
| 合計 | 100.0% |

●分配金実績(一万口当たり、税引前)

| 決算期 | | | | 設定来合計 |
|-----|---|---|---|-------|
| 分配金 | - | - | - | - |

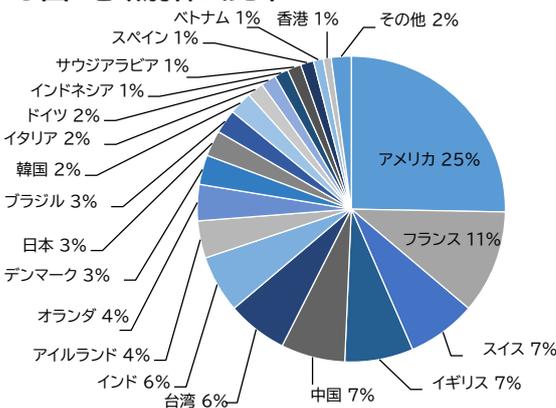
※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

●基準価額の変動要因(前月末比)

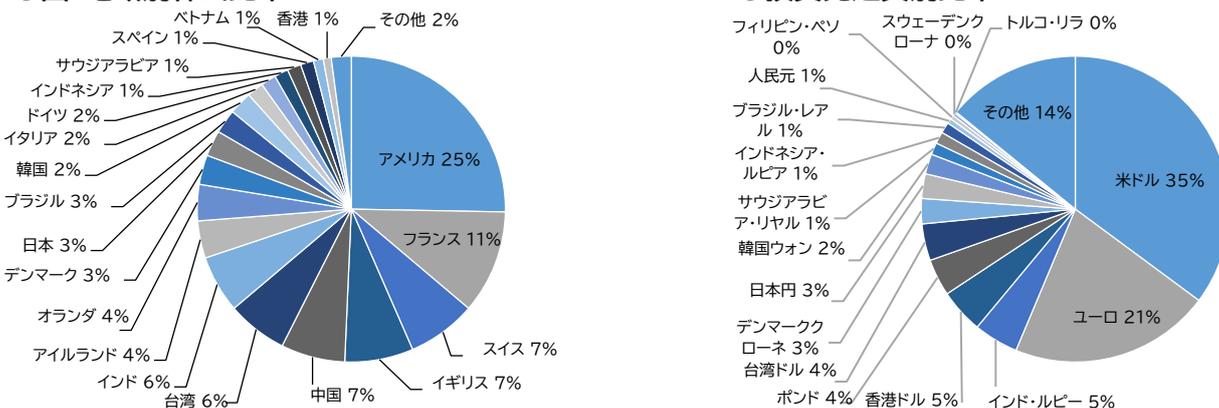
| 基準価額の変動額 | 307円 |
|---|------|
| ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て) | 6円 |
| コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定) | 111円 |
| コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定) | 67円 |
| アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用) | 174円 |
| アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ | 0円 |
| 信託報酬・その他 | -51円 |

※ 上記はあくまで概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ※ 項目ごとに円未滿は四捨五入しており、合計が基準価額の変動と一致しない場合があります。

●国・地域別株式比率



●投資先通貨別比率



※ 「国・地域別株式比率」、「通貨別比率」は2024年8月30日のデータをもとに9月30日現在の投資ウェイトで当社が計算しております。
 ※ その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

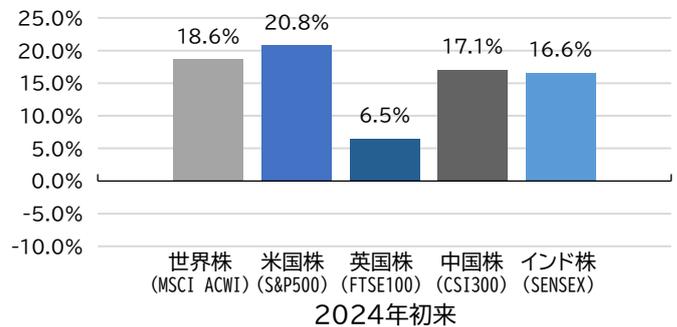
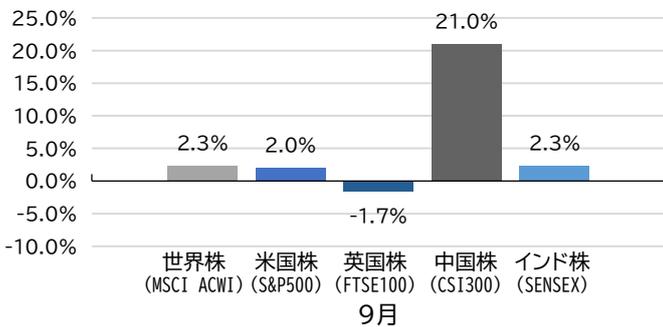


●組入ファンドの概要(なかの世界成長マザーファンド)

| | 銘柄名 | 運用会社 | 組入比率 |
|---|---|---|-------|
| | | ファンド概要 | |
| 1 | コムジエスト世界株式ファンド (適格機関投資家限定) | コムジエスト・アセットマネジメント株式会社 | 32.7% |
| | | 世界の企業を対象に徹底したファンダメンタル分析に基づいて、高い利益成長が期待される企業を中心に、集中投資します。 | |
| 2 | コムジエスト・ヨーロッパ・ファンド90 (適格機関投資家限定) | コムジエスト・アセットマネジメント株式会社 | 27.6% |
| | | 主としてヨーロッパの企業を対象に、高い利益成長が期待される企業を中心に個別銘柄を選定し、信託財産の成長を目指します。 | |
| 3 | アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用) | アライアンス・バーンスタイン株式会社 | 24.8% |
| | | 新興国の企業を中心に投資を行います。景気サイクルによる利益成長ではなく、構造的な成長機会を重視しています。 | |
| 4 | ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV ーグローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て) | ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド | 12.2% |
| | | 主として海外の社会と環境にプラスになる事業を行い、株価が将来にわたって上昇すると期待される企業に投資するファンドです。 | |
| 5 | アライアンス・バーンスタイン SICAV ーグローバル・グロース・ポートフォリオ | アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー | 1.4% |
| | | 主として新興国を含む世界各国の株式等に投資します。長期で優れた利益成長を達成する可能性が高い企業に厳選投資します。 | |
| | 現金等 | | 1.4% |

<ご参考>

●地域の代表的な株式指数の騰落率



※ 上記の指数は現地通貨ベースです。

●為替レートの推移(米ドル/円)



※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●各ファンドの組入上位5銘柄

コムジェスト世界株式ファンド(適格機関投資家限定)

| No. | 銘柄名 | 国・地域 | 業種 | 組入比率 | 過去3ヶ月リターン |
|-----|------------------|------|-------|------|-----------|
| 1 | マイクロソフト | アメリカ | 情報技術 | 6.7% | -3.6% |
| 2 | ASMLホールディング | オランダ | 情報技術 | 6.1% | -22.5% |
| 3 | イーライリリー | アメリカ | ヘルスケア | 6.1% | -2.0% |
| 4 | 台湾セミコンダクター(TSMC) | 台湾 | 情報技術 | 5.3% | 0.3% |
| 5 | リンデ | イギリス | 素材 | 4.9% | 9.0% |

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)

| No. | 銘柄名 | 国・地域 | 業種 | 組入比率 | 過去3ヶ月リターン |
|-----|---------------|-------|-------|------|-----------|
| 1 | ノボ・ノルディスク | デンマーク | ヘルスケア | 8.4% | -16.3% |
| 2 | ASMLホールディング | オランダ | 情報技術 | 7.4% | -22.5% |
| 3 | エシロールルックスオティカ | フランス | ヘルスケア | 5.2% | 5.7% |
| 4 | アクセンチュア | アメリカ | 情報技術 | 4.1% | 17.0% |
| 5 | アルコン | スイス | ヘルスケア | 4.1% | 5.1% |

アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)

| No. | 銘柄名 | 国・地域 | 業種 | 組入比率 | 過去3ヶ月リターン |
|-----|----------------|------|----------------|------|-----------|
| 1 | 台湾セミコンダクター | 台湾 | 情報技術 | 8.6% | 0.3% |
| 2 | テンセント・ホールディングス | 中国 | コミュニケーション・サービス | 6.1% | 19.4% |
| 3 | サムスン電子 | 韓国 | 情報技術 | 5.5% | -24.5% |
| 4 | SKハイニックス | 韓国 | 情報技術 | 3.4% | -26.2% |
| 5 | ブロードコム | アメリカ | 情報技術 | 3.3% | 7.8% |

ティー・ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・インパクト・エクイティ・ファンド(クラスS、円建て)

| No. | 銘柄名 | 国・地域 | 業種 | 組入比率 | 過去3ヶ月リターン |
|-----|------------------------------|------|-------|------|-----------|
| 1 | ELI LILLY & CO | アメリカ | ヘルスケア | 4.0% | -2.0% |
| 2 | LINDE PLC | イギリス | 素材 | 2.9% | 9.0% |
| 3 | THERMO FISHER SCIENTIFIC INC | アメリカ | ヘルスケア | 2.9% | 11.9% |
| 4 | ASML HOLDING NV | オランダ | 情報技術 | 2.8% | -22.5% |
| 5 | DANAHER CORP | アメリカ | ヘルスケア | 2.5% | 11.4% |

アライアンス・バーンスタイン SICAV-グローバル・グロース・ポートフォリオ

| No. | 銘柄名 | 国・地域 | 業種 | 組入比率 | 過去3ヶ月リターン |
|-----|------------------|-------|-------|------|-----------|
| 1 | Microsoft Corp. | アメリカ | 情報技術 | 4.7% | -3.6% |
| 2 | Amazon.com, Inc. | アメリカ | 情報技術 | 4.6% | -3.6% |
| 3 | ASML Holding NV | オランダ | 情報技術 | 4.5% | -22.5% |
| 4 | Novo Nordisk A/S | デンマーク | ヘルスケア | 4.0% | -16.3% |
| 5 | Visa, Inc. | アメリカ | 金融 | 3.4% | 5.0% |

※ 上記はデータが入手できる2024年8月30日現在の情報です。
 ※ 分類はなかのアセットマネジメントの判断によります。
 ※ 組入比率は、各ファンドの純資産総額を100とした場合の比率です。
 ※ 「過去3ヶ月リターン」は、現地通貨ベースで表示しています。
 ※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



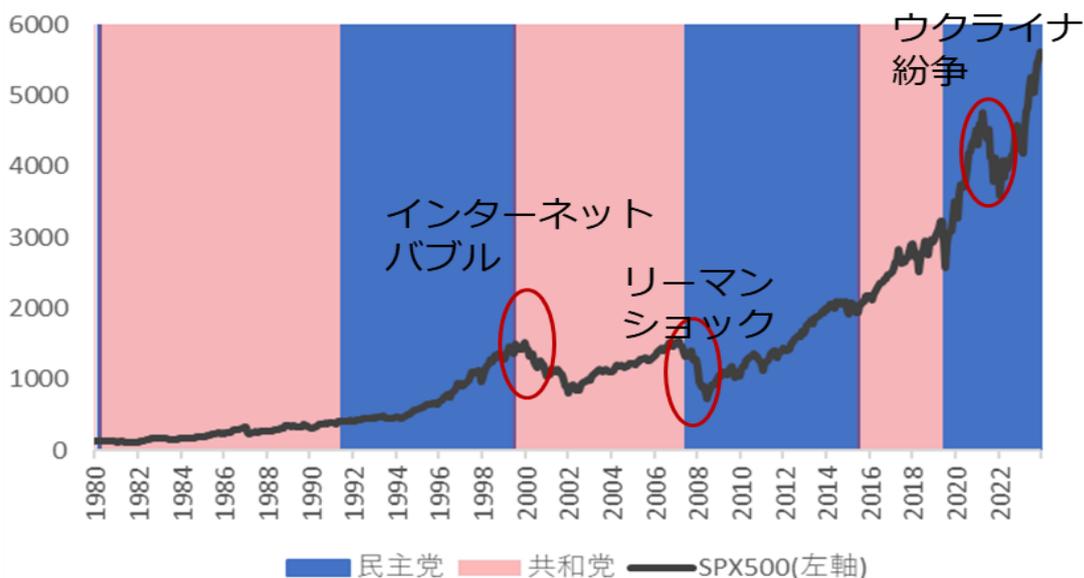
～コラム～ 株式市場と政治

米国の大統領選挙が近づいてきました。民主党の候補(ハリス氏)と共和党の候補(トランプ氏)の政策論争が続いていますが、経済政策的にはトランプ氏の方が株式市場としては好意的に受け取られやすく、ハリス氏は外交の分野でプラスというのが筆者の見方ではあります。

しかし、歴史を振り返ってみると民主党の大統領でも共和党の大統領でも長期的にはアメリカの株式市場には大きな影響を与えていないように思います。一般的には、政治イベントは株式市場にとっては一時的なインパクトを与えるに留まると考えます。それよりも、バブルの崩壊や紛争やコロナ禍などの外部イベントの方が株式市場にインパクトがあったように見えます。

最近、米国ではFEDが0.5%という思い切った利下げを行ったことにより景気後退のリスクを下げようと努力しています。世界の株式市場は米国の大統領選挙などの政治イベント、それから今でも続くウクライナ紛争などをくぐり抜けて成長を続けてゆくと考えています。(居林 通)

米国の大統領選挙と米国株価推移



※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●運用チームから

| 氏名 | 役職 | コメント |
|--|---------------------------------------|--|
|  | 代表取締役社長 最高投資責任者 (CIO) | 長距離列車「なかの号」は出発から5カ月が経過。8月上旬の相場急落以降、2つのファンドは大きな潮目の変化を実感しながら、大いに地固めを進めることが出来ました。何より運用チームの面々が、明るく楽しく元気よくリサーチに励んでいる姿を見ていて、此の先の長期投資成果に対する手応えは高まるばかりです。60代になった我が身が、再び情熱を傾けて新たな事業と運用に取り組めることの幸せを、感謝の想いを共に噛みしめる毎日です。趣味＝仕事、特技＝長期投資というトコトン昭和気質の自分を、もう誇りに思うしかありません(笑)。 |
| 中野 晴啓 | | |
|  | 運用部長 兼 チーフポートフォリオ オマネジャー | 石破さんが新総裁に選ばれました。誠意あるベテラン政治家が選ばれてよかったと思っています。市場にとっては経済を短期でブーストする他の候補の方がよかったという声もありますね。ただ、国家の永続的繁栄を望むものにとって石破さんはよい選択でした。思えば民主党時代にはドル円80円割れの超円高でした。その経験は日本企業にとって悪いことばかりではなかったのです。試練が企業を強くするからです。いつの時代にも逆境を乗り越えるタフな人々が社会を支えています。クオリティ・グロース投資は例外探しの旅です。市場環境に負けない強い企業を応援していく所存です。 |
| 山本 潤 | | |
|  | 運用副部長 兼 シニアポートフォリオ オマネジャー | AIの世界はどんな世界か AIという言葉を聞かない日はないほどAIは新しい技術として注目されています。実際、会議の文字起こしなどでは驚くような精度を見せることもあります。投資の仕事をどんどんAIに託せるようになる人間は機械の部下を持つと同じようになり、人間はよりAIを自由に使えるようになるのが重要になるでしょう。AIのある時代に付加価値を付けられる判断力を持ちたいものです。 |
| 居林 通 | | |
|  | シニアポートフォリオ オマネジャー 兼 シニアアナリスト | 「円キャリー取引巻戻し」の思い出。1998年10月初め、私は外債運用者。夏のロシア危機前に147円までイケイケで円安が進行していたのに、すでに20円安、ネックラインの128円を切る?!。。。当時は100億円相当となるとドルをヘッジ売りするには先渡取引で何回も分けるしかありませんでした。翌朝、スポット117円台になっているのを見て、「おお結構動いたね」と口にしたところ部下から一言。「NYで102円台まであったんですよ」。一気に25円以上の円高が起こした阿鼻叫喚をひと眠りしていたことになりました。その後、約1か月弱、流動性ももっとも高いはずの米国国債で5年より長い債券の取引ができませんでした。これはLTCMという巨大ヘッジファンド崩壊時の出来事です。感謝祭までの秋は、波乱が起こりがち。市場で大きな変動があれば、長期投資家はチャンスに変えたいものです。 |
| 菅 淑郎 | | |
|  | ポートフォリオオマネジャー 兼 シニアアナリスト | 全くの素人ですが、最近脳神経科学について調べています。脳は「爬虫類脳」「哺乳類脳」「人間脳」の3層構造で進化したという仮説があります。「爬虫類脳」は本能、「哺乳類脳」は感情、「人間脳」は理性を、それぞれ司るそうです。私たちは何か危機を感じた際、「爬虫類脳」の本能により「闘争か逃走か」の判断を強く促してきます。例えば、話の中で反対意見を言われ、ついカッとなった経験はありませんか?この時、「爬虫類脳」が活性化し「闘争か逃走か」に脳がハイジャックされているような状態になっているそうです。このような状態で建設的な対話ができるはずありませんね。本能に抗うのは難しいことですが、カッとなった時は、脳の構造としてこうした感情が起きていることを客観的に捉えることで、理性的な振る舞いを心がけていこうと思います。 |
| 佐藤 栄二 | | |

次のページへ続く →



●運用チームから

| 氏名 | 役職 | コメント |
|--|----------|--|
|  | シニアアナリスト | 今年もヨーロッパサッカーのシーズンが始まりました。私が応援しているJuventusは移籍市場で監督のチアゴ・モッタを初め、各国の代表クラスの選手を複数名獲得することができ、ポジティブな状態で新シーズンを迎えています。 今年最も期待したいのは昨年ユースチームからトップに上がり、19歳にして10番を背負うケナン・ユルディズです。シーズンの初めは、いくらうまいとはいえ、19歳に10番を背負わせるのはプレッシャーかけすぎではないかと心配していましたが、チャンピオンズリーグ、PSV戦でのペナルティボックス外側「右斜め45度」のエリアからの、美しい弧を描いたゴールを見て杞憂だということがわかりました。シーズンを通して彼のファンタジーあふれるプレーが見れることを期待したいです。 |
| 大月 天道 | | |
|  | アナリスト | 皆さま、いつもありがとうございます。ようやく涼しい季節になりましたね。私は最近、秋の夜長を楽しみながら、毎晩バラダでドラマを見ています。視聴中のドラマの一つ、NHK連続テレビ小説「虎に翼」がまもなく最終回を迎えるのですが、早くも口スを感じる日々です。ドラマで描かれた時代と現代では社会環境が異なりますが、家父長制の中で奮闘する主人公寅子に共感する場面が多く、涙なしでは見ることはできませんでした。女性の先輩方が切り開いてこられた道を、私自身も恩恵を受けながらさらに舗装し、より良い形で次世代に引き継いでいきたいと思いました。 |
| 谷 亜矢野 | | |
|  | アナリスト | 先月は中野社長のセミナー等にご一緒し、島根・広島、石川・富山と回りました。幅広い年代のたくさんの方とご縁ができたことに感謝申し上げます。最終の富山のあと、1日お休みを頂戴し、世界遺産で知られる五箇山に足を延ばしました。電波も届かない曲がりくねった山道を抜けた先にあるのは、中世がそのまま冷凍保存されているかのような秘境、桃源郷でした。観光客は平日のためか疎なので、ゆっくり自然を満喫できます。合掌造りの民家の土間に、『五箇山の民俗史』(小坂谷福治著)なる史料がわずか五、六百円で売られていたのを目にし買って見ましたが、明治から昭和初年を生きた古老に聞いたリアルな生活風景が描写されており、大興奮でした。ただ、いかんせん最近になるまで生活が苦しかったことも窺え、生きるため、生活水準を高めるための過去の人々の努力に敬意を表するほかありません。私たちも負けてはいられませんね！ |
| 関口 耕大 | | |

当社の社員に新しい家族が生まれました👶

写真を見せてもらったのですが、とってもかわいい赤ちゃんでした。

子どもの話題となるといつも思うのですが、我々運用会社が良い会社を応援することで良い社会を作り、将来子どもたちが幸せに生活できる社会をつくることにつながれば良いなと思っています。

将来、そんな仕事ができたとと言われるようになりたいと思っています。(マーケティング部 秋元 祐毅)

follow me!

各公式SNSで情報を発信しています！



YouTube

note





●9月14日マンスリー運用報告会の様子



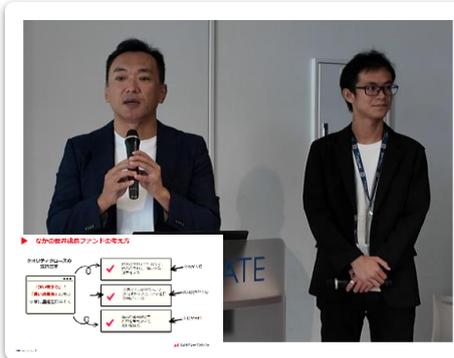
マンスリー運用報告会を9月14日(土)に開催しました。今回も多くのお客さまにご参加いただきました。

マンスリー運用報告会のほか、9月は富山、宇都宮、沖縄にお邪魔してまいりました。次のページ(CIO探訪記)で中野が旅した風景を掲載していますので、そちらもご覧ください！

10月は東京の他、福岡、鹿児島、宇都宮にお邪魔します！お近くの方はぜひお越しください。お待ちしております！

セミナー情報はこちら！→

<https://nakano-am.co.jp/seminar/>



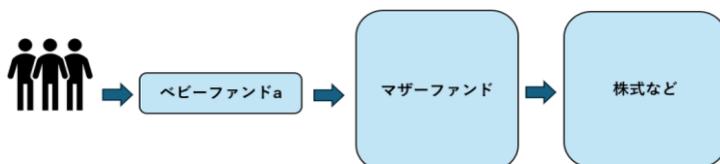
～なかのアセットが運用する投資信託の運用形態について～

みなさま、こんにちは！今回は「なかのアセットが運用する投資信託の運用形態」について解説します。

マンスリーレポートを見ていると『マザーファンド』という言葉が出てきます。今回はこの『マザーファンド』やこれに関連する『ベビーファンド』などについて解説したいと思います。

当社が運用する2本の投資信託はどちらも【ファミリーファンド方式】で運用しています。また「なかの世界成長ファンド」に関してはマザーファンドを通じて複数の投資信託(投資対象ファンド)に投資をする【ファンド・オブ・ファンズ】形式で運用を行っています。

【ファミリーファンド方式】とは『マザーファンド』や『ベビーファンド』と呼ばれる2種類のファンドを使って運用する形態のことです…



続きはnoteで！→

<https://note.com/nakanoam/n/n917bf22f34ad>





9/7 金沢・富山

【CIO探訪記】

～当社CIO(最高投資責任者)中野の見聞録～

セミナー訪問先

8/31(土) 島根

9/1(日) 広島

9/7(土) 金沢・富山

9/22(日) 沖縄

9/23(祝) 沖縄



9/22・23 沖縄

この1ヶ月は台風の動向を伺いながら各地でセミナーにお邪魔した1ヶ月間でした。8/31(土)島根セミナーでは毎日変わる台風の進行速度に翻弄されながらも何とか奇跡的に前日の島根入りができました。

開催が危がまれたセミナー当日は台風一過の好天で、サテライト会場からのオンライン参加も含め多くのお客様にご参加いただきました。翌日の広島でのセミナーも、台風の影響なく満員御礼で無事に終えることが出来ました。翌週は金沢・富山で一日2回のセミナーを行い、シルバーウィークには沖縄2Daysも地元FPの方々のご支援のもと盛会のうちに終えることができました。

これを執筆している10/1現在はダブル台風が近づいていますが、何事もなく過ぎていくことを願うばかりです。



8/31 島根



9/1 広島



9/22・23 沖縄

～編集後記～

10月です。2024年も残すところ3ヶ月です。1年が過ぎるのはあっという間に感じています。

早くも新NISAが始まってから9ヶ月が経ち、セミナーでいただくお客さまからのご質問がNISA口座の移管に関する話題が多くなってきました。例年各金融機関では10月頃から移管が始まりますが、このような話題が出る度に今年も、もうそんな時期なのかと思います。

2024年も残り3ヶ月、全力を尽くしていきます！(秋元 祐毅)



●ファンドの目的・特色

ファンドの目的

主として、内外の投資信託への投資を通じて、世界の成長企業に投資を行い、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。

ファンドの特色

- 1 世界の株式に投資することで、日本以外の魅力的な投資機会も捉えることを目指します。
- 2 長期の資産形成を目指して、長期視点で世界の成長企業(クオリティ・グロース企業)の株式に投資を行います。
- 3 多面的な調査を行った上で、長期的に成長が期待される企業に投資をするアクティブファンドに、割安と考えられるタイミングで投資を行うことを目指します。
- 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

また、マザーファンドを通じて複数の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

※ マザーファンドを通じて内外の投資対象ファンドに投資を行い、実質的に世界の株式等に投資を行います。

分配方針

毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
 - ・ 分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
 - ・ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。
- ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

●投資リスク

基準価額の変動要因

- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・ **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・ 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

● 価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

● 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

● 為替変動リスク

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

● カントリーリスク

主要投資対象ファンドの投資対象国において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



収益分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

その他の留意点

- ・ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- ・ 委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- ・ 委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

● 手続・手数料等

お申込みメモ

| | |
|------|--|
| 購入単位 | 販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌々営業日の基準価額(1万口当たり)とします。 |
| 換金単位 | 販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。 |
| 信託期間 | 無期限(2024年4月25日設定) |
| 繰上償還 | 委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ 純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。・ 信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。・ やむを得ない事情が発生したとき。 |
| 決算日 | 原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日) 第1決算日は2025年4月24日とします。 |
| 収益分配 | 原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none">・ 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。・ 当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。・ 配当控除の適用はありません。・ 益金不算入制度は適用されません。 |



ファンドの費用・税金

●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | | |
|------------------|---|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 当ファンド | 信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、 年率0.605%(税抜0.55%) を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。 |
| | 投資対象ファンド | 年率0.4%～0.9%程度(税抜) ※運用・管理報酬等の料率は投資対象ファンドにより異なります。 |
| | 実質的な負担 | 年率1.3%±0.2%程度(税込) ※投資対象ファンドの組入比率の変更などにより変動します。 |
| その他の費用・手数料 | 監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。 ※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。 | |

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

| 時期 | 項目 | 税金 |
|-------------------|-----------|---|
| 分配時 | 所得税および地方税 | 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315% |
| 換金(解約)時 および償還時 | 所得税および地方税 | 譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315% |

※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

●委託会社およびファンドの関係法人

| | |
|-----------------------------|--|
| 委託会社 ファンドの運用の指図を行う者 | なかのアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページアドレス： https://nakano-am.co.jp/ |
| 受託会社 ファンドの財産の保管および管理を行う者 | 野村信託銀行株式会社 |

| 販売会社 ファンドの募集の取扱い等を行う者 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業協会 | 一般社団法人 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 |
|--|--------------------------|---------|---------------------|---------------------|------------------------|
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第一生命保険株式会社 | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第657号 | ○ | ○ | | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社) | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号 | ○ | | | |
| 株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社) | 登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号 | ○ | | ○ | |
| auカブコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社北國銀行 | 登録金融機関 北陸財務局長(登金)第5号 | ○ | | ○ | |

●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・ 当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されていないものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ 当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・ 本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。